

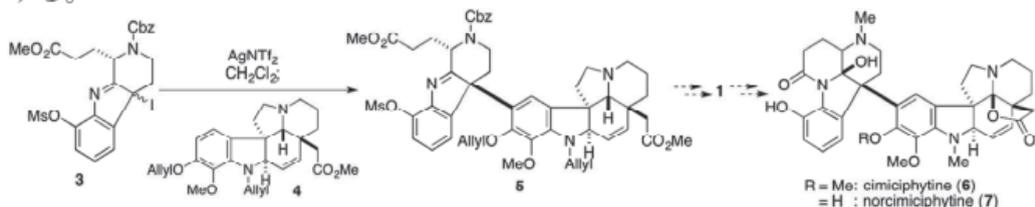
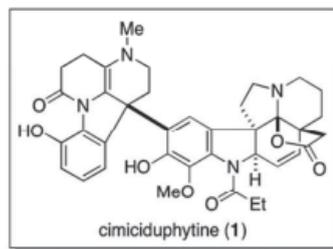
25S-am01S

二量体型インドールアルカロイド (+)-haplophytine 類縁化合物の合成研究

○小島 健一¹, 植田 浩史¹, 徳山 英利¹ (¹東北大院薬)

【目的】 キョウチクトウ科の植物 *Haplophyton camicidum* からは、camiciduphytine (**1**)¹ や (+)-haplophytine (**2**)² 等の様々な二量体型インドールアルカロイドが単離されている。本研究では、最近達成した**2**の収束的全合成経路³を基に、**1**をはじめとする**2**の類縁化合物の合成研究を行った。

【結果】 まず、我々の合成経路を基に、カップリング反応に用いる両ユニット**3**、**4**を合成し、カップリング反応を検討した。すなわち、ヨードインドレニン**3**をAgNTf₂により処理した後、即座に右ユニット**4**を添加すると、望みのトランス体**5**を高収率、かつジアステレオ選択的に得ることに成功した。発表では、**1**の全合成に向けたその後の構造変換についても併せて紹介する。



【参考文献】 1) Cava, M. P. *et. al. Heterocycles* **1991**, *32*, 1461. 2) Snyder, H. R. *et. al. J. Am. Chem. Soc.* **1952**, *74*, 1987. 3) Tokuyama, H. *et. al. Angew. Chem. Int. Ed.* **2016**, *55*, 15157.